

平成28年度 自己評価表

(放課後等デイサービス事業所 楽笑)

放課後等デイサービス事業所楽笑では、サービスの質についてスタッフ自ら評価・点検をしています。

	チェック項目	改善・工夫している点・取り組み状況など
環境・ 体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保しています。
	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされる配置数を満たし、保育士を1名以上配置(常勤換算)しています。
	事業所の設備等について、バリアフリー化など利用者に応じた配慮が適切になされているか	床はフローリングのバリアフリーとなっていて、身体的負担を軽減でき、お子様に怪我の無いよう室内は、必要最小限の物だけを置くようにし、シンプルな内装にしています。
	指導室内は個々の子どもの状態に配慮した環境調整が行われているか	
	事業所内の安全対策が十分に取られているか	教材や遊具、設備に危険な箇所がないか毎日チェックしています。
	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	毎日、清掃および消毒を行っています。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員参画しているか	日次・週次で全職員参加のMTGを実施し、業務改善のために、些細なことでも意見交換し、改善案を出し合い、改善に向けて取り組んでいます。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様へ評価表によるアンケートを実施し、いただいた意見をまとめて、全職員で共有し、業務改善につなげています。
	自己評価の結果を、事業所ホームページ等で公開しているか	当事業所のHP(http://www.rakusho-co.com)にて公開しています。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在は、保護者様・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	入社後は、初任者研修を実施し、その後もすべての指導員に継続的に研修をおこなっています。
適切な 支援の 提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	計画期間ごとにアセスメントを取った上で放課後等デイサービス計画を作成しています。 統一したアセスメントシートを使用しています。
	子どもの状態を把握するため、また支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	
	子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか	お子さまの事例を共有・議論するケース検討会の実施を検討しております。
	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	お子さま一人ひとりの特性や興味に合わせて、効果的に楽しく学ぶことができるように指導し、自発的に適切な行動をとったり、学びやすい環境作りを心がけて、支援を行っています。
	子どもの生活環境等(平日・休日・長期休暇)に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	
	子どもの状況に応じて、個別・集団による支援を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	アセスメントを基に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、放課後等デイサービス通所計画を作成し、定期的にモニタリングを行い見直しを行っています。
	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか	
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼・終礼を日次で実施するようにし、メール等を利用し全職員間で情報の共有を行っています。
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	
	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や環境の変化に応じて指導内容や支援の方法を検討しています。

旨定基準を満たした上で、より良いサービス提供を続けるとともに自己評価結果を公表することで、保護者の皆様に安心してご利用いただきたいと考えております。

評価基準は、「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに、事業所独自の基準を設けています。

	チェック項目	改善・工夫している点・取り組み状況など
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	楽笑では、児童発達支援管理責任者をはじめ全スタッフがお子様の状態を把握し、支援しています。 会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフが参加しております。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	必要に応じて、情報提供できる体制を整えています。
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供する等しているか	必要に応じて、情報提供できる体制を整えています。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等から意見を確認する等その連絡体制を整えているか	医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れの際には、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。
	事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けているか	外部専門家による研修を行ったり、必要に応じて助言を受けています。
	放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子どもと活動する機会に対しての支援を行っているか	限られた指導時間の中で、お子様全員に地域交流の機会を提供することは難しいですが、近隣の公園等で他の子どもと接する機会があります。
	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	なるべく参加するようにしています。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援が終了し送迎時に、保護者様へ様子等を伝えています。
保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援や保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提供等を行っているか	保護者様より相談を受けた場合には家庭での対応方法などについて助言し、また、全職員がペアレントトレーニングの知識を習得できるよう、講習会に参加するなどを検討しています。	
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項を掲示しています。具体的な支援の内容については、放課後等デイサービス通所計画の提示面談時に説明するとともに、毎回の支援が終了し送迎時に保護者様とお話する時間を設けています。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	主に支援が終了し送迎時等に相談に応じております。
	父母向けの活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	座談会等を実施を検討しています。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	事業所に受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えております。いただいた苦情に対しては、規定に基づき迅速かつ丁寧に対応しています。
	定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	毎月おたよりを発行して、活動内容やイベントのご案内等しております。当事業所のHP(http://www.rakusho-co.com)にも公開しています。
	個人情報に十分注意しているか	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	お子様・保護者様の状態に応じて、意思疎通・情報伝達等を実施しています。
	地域住民、地域の関係機関に協力いただいて事業所の行事を行うなど地域に開かれた事業運営を図っているか	開催するイベントには、地域の方々を招待し、地域交流を図っています。
非常時等の対応	事故対応や感染症に関するマニュアル、非常時災害計画等について策定し、職員や保護者に周知しているか	各マニュアルや計画等を策定し、外部講師を招き社内研修を実施しています。各マニュアル等は室内に整備し、必要に応じて掲示してあります。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練を実施しています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画にも記載しているか	保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、放課後等デイサービス通所計画の特記事項に記載しています。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	全てのお子様について、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討しその内容について、周知共有しているか	ヒヤリハット事例が起こった際には、緊急にMTGを実施し全職員間で共有し早急に改善策を検討し、対応を行っています。

平成28年度 放課後等デイサービス楽笑 評価結果

保護者の皆様からの回答結果およびご意見を掲載させていただきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10	1		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	1	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5		保護者もデイサービス中の子どもの様子を見られるといいかも
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10	1		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	6		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	7		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	4	7		あれダメこれダメと言われることが少なく色々子どもは楽しいようで喜んでます
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11			学校や幼稚園への迎えも時間通りに必ず行ってもらえるので安心してお願いできます

お忙しい中、ご回答いただき、ありがとうございました。

ご意見・ご要望を今後の業務に反映させ更なるサービス向上に努めます。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。